

過年度データ閲覧方法の仕様変更につきまして

2012年7月2日

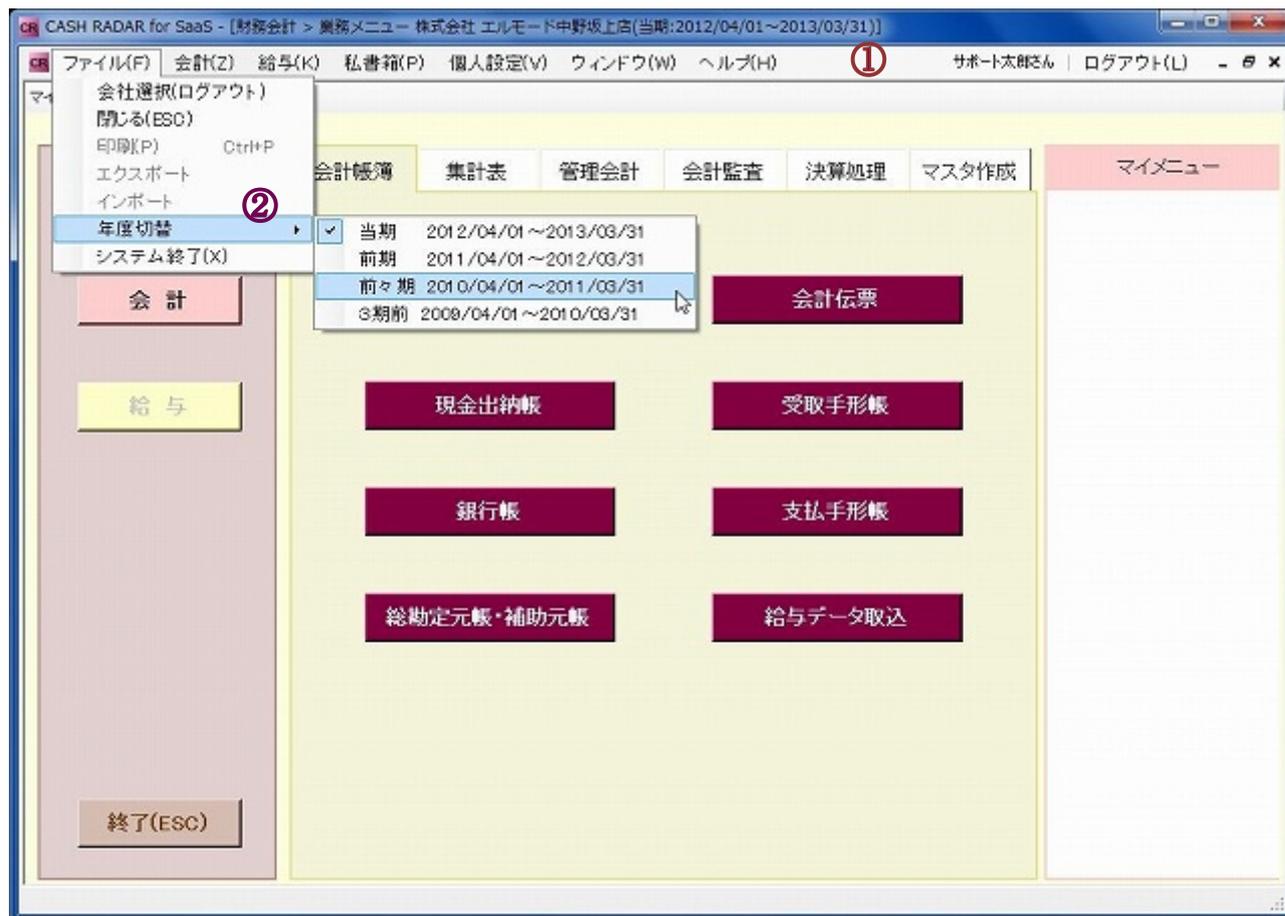
株式会社エヌエムシイ サポートセンター

会計メニュー全般における「過年度データ」の閲覧方法を変更いたします。

リリース日：2012年7月11日(水)

1

追加される機能

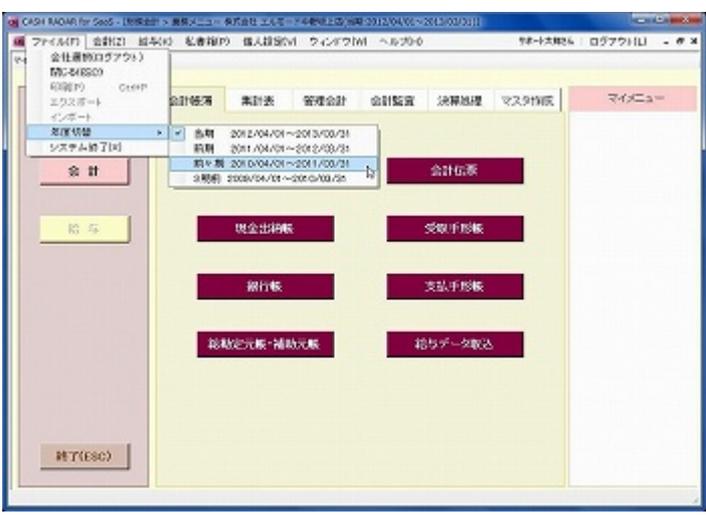


①	タイトルバーへの事業年度表示	現在選択されている事業年度が、ウインドウ上部のタイトルバーへ常に表示されるようになります。 なお、ログインした直後は、「当期」が表示されます。
②	「年度切替」機能	過年度のデータを閲覧する場合には、会計の業務メニュー画面の〔年度切替〕で閲覧したい事業年度を選択します。(手順は次頁) これにより、会計の全てのメニューの内容が、切り替えた事業年度のものになります。 「当期」へ戻す場合は、あらためて年度切替を行います。(あるいは会計メニューを一旦終了)

過年度データ閲覧方法の仕様変更につきまして

2

年度切替の操作手順

<p>(1)</p>		<p>会計の業務メニュー(メイン画面)の左上〔ファイル(F)〕→〔年度切替〕の順にクリックし、閲覧したい事業年度を選択します。</p> <p>☺ 年度切替は、会計の個々のメニュー画面からは操作できません。 一旦、業務メニュー(メイン画面)に戻って下さい。</p>
<p>(2)</p>		<p>確認ダイアログに対し〔はい〕をクリックします。</p> <p>☺ 帳簿や集計表、マスタが全て選択した事業年度の内容になります。</p>
<p>(3)</p>		<p>ウインドウ上部のタイトルバーの記述が選択した事業年度に変わっていることを確認します。</p> <p>☺ 〔当期〕に戻す場合は、下記いずれかの作業を行なって下さい。 A,年度切替を行い、〔当期〕を選択する B,会社選択から会社に入り直す 会社選択後の年度は、必ず「当期」となります。</p>

過年度データ閲覧方法の仕様変更につきまして

3 事業年度の選択について

集計表系

例: 月次試算表

選択している事業年度が『当期』である場合は、帳簿や集計表の選択可能期間が「当期」「翌期」の2期のみとなります。

勘定科目名	前月残高	借方	貸方	当月残高	構成比
【現金・預金】					
現金	110,000				
当座預金	819,000				
普通預金	205,500				
現金・預金 計	1,214,500				
【売上債権】					
売掛金	1,501,000				
売上債権 計	1,501,000				
【有価証券】					
有価証券 計	0				
【棚卸資産】					
棚卸資産 計	0	0	0	0	0.00%
【他の流動資産】					
支払消費税	0	2,380	0	2,380	0.08%
他の流動資産 計	0	2,380	0	2,380	0.08%
流動資産 合計	2,715,500	208,860	139,000	2,791,380	100.00%
【有形固定資産】					
有形固定資産 計	0	0	0	0	0.00%
【無形固定資産】					
無形固定資産 計	0	0	0	0	0.00%

例: 月次試算表(過年度)

選択した事業年度が過年度の場合は、ドロップダウンが表示されません。該当の事業年度内のみが表示の対象となります。

帳簿系

例: 仕訳日記帳

選択されている事業年度に該当しない対象年月日指定すると、【指定した対象年月日は事業年度の範囲外です】とエラーになります。

なお、〔当期〕が選択されている場合は、当期とその翌期を指定することができます。

過年度データ閲覧方法の仕様変更につきまして

4 過年度データ非対応機能・メニュー

年度切替で過年度を選択した場合に、操作ができない機能とメニューは下記のとおりです。
原則、過年度データは「閲覧のみ」の機能となります。

過年度データ非対応の機能 (全メニュー共通)	データの新規登録、および登録済みデータの変更・修正・削除。(※下記例外あり)
過年度データ非対応のメニュー (メニューを開くことができません)	〔翌期更新〕〔給与データ取り込み〕〔決算予測〕 〔仕訳日記帳(決算修正)〕〔会計伝票(決算修正)〕 〔データ監査〕〔入出金予定表〕〔達人連動〕

下記メニューの一部項目につきましては、過年度データであっても変更が可能です。

なお、変更内容は他の事業年度には反映されません。

(※) 過年度データでも変更可能な機能	
〔マスタ作成〕基本情報設定	帳票設定
〔マスタ作成〕科目設定	資金繰項目、変動損益項目
〔マスタ作成〕損益部門設定	従業員数 配賦パターン(追加・削除も可能) 科目別配賦設定

5 閲覧可能な事業年度

入力	閲覧	翌期更新前		入力	閲覧	翌期更新後
○	○	翌期	→	○	○	翌期(新)
○	○	当期		○	○	当期
×	○	前期		×	○	前期
×	○	前々期		×	○	前々期
×	○	3期前		×	○	3期前
				×	×	削除

「当期」の他、「翌期」と「前期」、「前々期」「3期前」の計5カ年分のデータを保持することができます。(◆)
翌期更新を行うと、「翌期」だった年度が「当期」となり、「当期」だった年度より以前は入力が行えなくなります。

(◆) オプションサービス『ダーウィン版』は、最大「9カ年」のデータ(翌期・当期+7期前まで)を保持することができます。

ダーウィン版の導入につきましては、株式会社エヌエムシイまでご相談下さい。

PB システム「ダーウィン版」

お問い合わせ

TEL : 03-5354-5201 (営業担当)

Mail : sp000000@nmc.ne.jp

以上